

“今のままじゃいかん!!”を、
慎重に、形にしていく。



室戸にひとを集め、町を元気にしたい。その思いで始まった「室戸ジオパークトライアスロン」が、2018年には4回目を迎える。「こんまい時から知っちゅう仲」の30名ほどからなる商工会青年部も、実行委員として参加している一大イベントだ。
くじらぶねきょうそう
鯨舟競漕大会や週末のマルシェなどにも、積極的に協力する。店舗や会社を経営する室戸びとが、業種に関わりなく会員となり、お互いの事業や地域の発展のために活動するのが商工会。45歳までが青年部。その上は親会と呼ばれる。上も下も隔てなく室戸のこれからを語り、知恵を出し、時には酒を飲みながら、また語る。「今のままじゃいかん!!」と、飲みながら話すと、けっこういいアイデアが出る。(覚えていないこともあるが)こんな席からトライアスロンの話も始まった」と、青年部OBでもある富岡会長。世界が認めたジオの自然、海産物、そしてひと。自分たちが大好きな室戸を、たくさんのひとに体験してもらいたい。その思いで、宿泊施設の整備やジオパークをアピールする旅企画など、外からの意見にも耳を傾けながら、形にしようと奮闘する。「進み方はじっくり。ウサギでなくカメです。いい意味で!!」

室戸市商工会青年部
富岡一成・中島隼人・靱物泰正・
谷口洋介・千頭 賢・亀井優司郎・三谷俊一郎

室戸びと、
進む。